



2024年2月14日

各位

会社名 パ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役 高 橋 勇 造
(コード番号：3840 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 星 淳 行
TEL：03-6823-6664 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正 2024年3月期 通期連結業績予想値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,456	百万円 △88	百万円 △88	百万円 △90	円 △1.74
今回予想(B)	2,342	△167	△165	△168	△3.17
増減額(B-A)	△114	△79	△76	△77	
増減率(%)	△0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	1,991	△220	△224	△256	△5.46

2. 修正の理由

当社の成長分野に位置付けている再生関連事業につきましては、再生医療関連事業を営む株式会社RMD Cを前連結会計年度に連結子会社化したことにより、事業化が急速に進みました。また、自動細胞培養ロボットの開発、細胞培養加工施設の建設など積極的な投資を行っております。当事業年度においては、ヒト由来の原料や化粧品OEM製品の受託が好調で当初想定していた売上高及び営業利益を大幅に上回っております。

しかしながら、コスメ・ビューティ&ウエルネス事業につきましては、著名人と共同開発のビューティ&ウエルネス商品については、新たな販売チャネルでの販売が好調であったものの、当社の主力商品であ

るコスメ商品については、医薬部外品などを新商品として開発して新たな市場に投入することにより売上高の増加を見込んでおりましたが、競合他社の医薬部外品が積極的な広告投資を行った影響も受け、顧客の新規獲得を当初の計画に達していないことが最大の要因となり、当第3四半期連結累計期間の売上高が想定を下回る結果となりました。また、当社のもう1つの成長分野に位置付けているサステイナブル事業につきましても継続的な営業活動の結果、企業等からの引き合いが増加し、新たな取引が開始されておりますが、当初想定していた売上高には達しておらず、利益面においても、当社基本指針でも掲げている「ひと・もの・しくみ」の「ひと」にあたるプロフェッショナル人材の確保等の費用が増加した為、当初の計画を下回る結果となりました。以上の結果により、前第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上回っているものの、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の各予想数値が当初予定を下回る見込みとなり通期の業績予想を修正することといたしました。

※本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上